

様式3

令和6年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（ 12 ） 学校名 豊田市立矢並小学校

1 テーマ

郷土を愛し、郷土に貢献する児童の育成

－矢並・恩真寺湿地学習と保全活動、地域に誇りをもつクラブ活動－

2 ねらい

児童が総合的な学習の時間や生活科で、ラムサール条約に登録された矢並湿地について調べたり、郷土の偉人鈴木正三について学んだりする中で、郷土を愛する気持ちを育む。また、地域の方と一緒に取り組む矢並湿地保全活動を通じて、学校・保護者・地域が協力して、郷土を愛し、郷土に貢献する矢並っ子の育成を目指す。

クラブ活動時に、地域に伝わる郷土芸能や伝統文化などを、地域ボランティアから学ぶことにより、矢並地区を見直す機会とし、守っていこうとする心を育てる。

3 活動内容

- ① 3～6年の総合的な学習の時間に、矢並湿地や鈴木正三について総合単元的なカリキュラムを組み、行う。
- ② 1・2年の生活科で、町探検の一環として矢並湿地を観察し、地域の宝を知る。
- ③ 自然観察の森レンジャーを講師とし、湿地についての学習を深め、学んだことを豊田市の湿地一般公開日などで、保護者や地域の人に伝える。
- ④ 矢並湿地保存会の方や保護者とともに、湿地の保全活動を全校で行う。
- ⑤ クラブ活動時に、地域ボランティアを講師とし、郷土芸能や伝統文化などについての学びを深める。
- ⑥ 学校ホームページに活動内容を紹介し、保護者や地域に発信する。

4 成果と課題

成果

矢並湿地に何度も行き、矢並湿地にしか生息していない生き物や植物について理解を深め、児童は、「この湿地すごい！」「守らなきゃいけない！」と改めて地域の宝の存在を認識し、自分たちで守ろうという意識を高めることができた。

また、豊田市の湿地一般公開日には、今年も子どもナビとして参加し、保護者や地域の方、県外の方などを相手に自分たちが学んできたことや、湿地を守ってほしいということを呼びかけた。「子ども目線のナビがとてもおもしろい。」「この子どもナビが楽しみで毎年きている。」などの声を多数いただいた。

また、クラブ活動を7回行った。郷土芸能である棒の手や、伝統文化のお茶、

矢並地区に生息する鳥の観察等、様々な分野でプロである地域講師に教えていただき、保護者からも「上手になった」「地域講師ありがたい」という言葉をいただいた。また、棒の手は、地域のお祭りにも参加し、地域の方からも「子どもたちが引き継いでいってくれてうれしい」との言葉をいただいた。

課題

- ・矢並湿地は普段は入れない特別な場所であり、学校だけでは成り立たず、自然観察の森の力を多々借りている。今年度自然観察の森の体制が大幅に変わったため、なかなか今まで通りには進めていけないことがあった。自然観察の森と綿密な打ち合わせが何度も必要である。
- ・クラブ活動ボランティアが、だんだん高齢化してきている。世代交代の新たな人材の発掘が必要である。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ホームページをクラブ活動時や湿地学習日に更新（計15回）し、取り組みを紹介した。
- ・学校だよりや学年だよりで、矢並湿地での学年の取組を、全学年湿地学習日ごとに紹介をした。
- ・授業参観や矢並湿地一般公開日に、5・6年生が、保護者や地域の方、県外からみえた方などを対象にガイドを行った。